



言語研究センター共同研究

韓国語と日本語の「条件」を表わす表現の対照研究

尹亭仁／久田和孝／車香春

本共同研究では、「条件・仮定・前提」などを表わす韓国語の表現「V-(으)면」・「V-더니」・「V-자」と日本語の表現「V-と」・「V-ば」・「V-たら(なら)」の用例を、同じテーマで企画され、書かれ

た小説『사랑 뒤에 오는 것들』(孔枝泳)と日本語翻訳本、『愛のあとにくるもの』(辻仁成)と韓国語翻訳本、全4冊から集める作業を進めてきた。『사랑 뒤에 오는 것들』からは関連表現を129個



(対応する日本語翻訳本からは117個)、『愛のあとにくるもの』からは関連表現を147個(対応する韓国語翻訳本からは115個)集めた。両方の小説で、韓国語の場合は3つの表現の中「V-(으)면」が114個、100個と圧倒的に多く用いられていることが分かった。しかし、日本語の場合は文脈によって3つの表現が多様に用いられており、さら

に両言語において対応しない例も2割近く見られた。このような多様な対応の様相が両言語の学習者に混乱を来しているのである。現在、今回集めた用例を時制・人称・従属節など文法的条件を加えながら分析を行ない、それぞれの表現の使い分けの理論的根拠をまとめる作業を進めている。
